第二南陽園の、桜の木を宿木にした藤の花が見頃です。

浴風会
5月号
平成30年5月1日発行
【発行者】〒168-8510
東京都杉並区高井戸西1-12-1
社会福祉法人　浴風会
ＴＥＬ（代表）03-3334-2101
http://www.yokufuukai.or.jp/
【振　替】00140-7-122882
【編集責任者】京極　高宣
【印刷所】株式会社サイド・ビー

「すべては出会いから始まった」～浴風会と私～

社会福祉法人　聖明福祉協会
理事長　本間　昭雄

これはどこかで聞いたような気がするが？と思われるかもしれません。そうです、行政官として社会福祉の基礎作りに全力投球された今は亡き板山賢治さん、浴風会理事長を務めた方の出版された著書名であります。

二十歳の時、医療事故で失明した私は社会事業家の末席を汚して63年、まさにすべて出会いから始まりました。どれほど多くの人々との出会いがあったでしょう。悶々と闘病生活を過ごした後、社会事業専門学校の門をたたきました。仲村優一・五味百合子・鷲谷善教・垣内芳子他諸先生方との出会いがありました。板山さんは研究科、私は専修科の2期生でした。暗中模索の中から視覚障害者福祉の法人を立ち上げました。この頃から厚生省通いが始まりました。昭和30年前後の事です。

日本赤十字本社講堂で発足した日本盲人社会福祉施設協議会の会員として、長く理事・評議員を務めました。歴代の理事長は厚生省の関係者が務めて下さいました。特に5代目の理事長には当時浴風会会長の大山正先生が務めて下さいました。先生はある時、浴風会で開催された老人福祉に関する研修会で私を探し、「部下の大月夫妻がお世話になっていますがよろしくお願いします」とあの穏やかなお声でおっしゃられた事も忘れられません。その後、6代目實本博次・7代目角田耕一そして9代目を板山賢治さんがお務めになりました。歴代の厚生省ＯＢは我が国盲人福祉のために力を注がれたことを知ることが出来ます。そして私は10代目として5期10年、理事長を務めました。今日、社会福祉を取り巻く環境は誠に厳しい時代を迎えました。このような時、いくつになっても学ぶ姿勢・心を忘れてはいけないと思い、京極高宣理事長の主催される福祉法人経営学会にも参加させていただき学ぶ機会を与えられたことも生涯の宝です。

振り返ってみると、半世紀も前、浴風園園長だった芦沢威夫先生に老人福祉に関する歴史や将来の展望などいろいろご指導いただき、昭和46年7月22日には、聖明園の職員研修会にも講師としておいでいただきました。さらに、ご自宅にもお招きをいただき亡妻と共に参上したことも懐かしく心に残ります。これら全て、人との出会い、もっともっと数えきれないほどの出会いがありました。こんな幸せなことはありません。

露口長浴風会常任顧問は（まだまだお若かった、厚生省の新進気鋭の職員でしたが）、今も交流が続きお酒を酌み交わすことの出来る幸せを感謝せずにはいられません。

卒寿を迎えようとしている私は、全国盲老人福祉施設連絡協議会の理事長職を辞し、後任に中村秀一先生を迎え、今後は名誉会長として微力を尽くすこととなりました。ホッと肩の荷を下ろした思いです。

平成30年度　浴風会事業計画（概要）について

総務部長　浅井　敏男

Ⅰ　基本方針

1　昨年度に引き続き、経営組織のガバナンスの強化、財務規律の強化、地域における公益的な取組などの実施といった社会福祉法人制度改革への対応を着実に推進する。

また、診療報酬及び介護報酬改定を踏まえ、地域包括ケアシステムの推進、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現などに鋭意取り組む。

一方、法人の持続的な成長を可能とするため、質の高い人材の確保、安定的な経営基盤の構築といった取組にも努める。

2　当会として一体化した広報計画の下、2025年に創立100周年を迎える当会の歴史や理念を踏まえ、中長期計画策定に取り組みつつ、実施事業の現状や方向性等について、適時適切に情報発信し、もって会内外関係者の理解と信頼の確保に努める。

3　これらの取組に当たっては、経営企画会議の下、本部事務局、企画開発本部、事業本部、人材確保対策推進本部、地域公益活動推進本部といった本部組織、また病院や特別養護老人ホーム等の各事業部門が部門を超えて密接に連携し、組織を挙げて対処する。

また、全職員が、浴風会職員であることに誇りを持ち、多職種協働で各々職務に邁進できる職場づくりを推進する。

Ⅱ　重点事項

1　地域との協働と社会貢献

（1）施設設備の開放、人材の派遣等を通じた地域交流の推進

（2）研修、職場体験活動等の積極的受入れや各種講座の開催等の推進

（3）介護フェアの開催、カフェ事業等による高齢者の居場所づくりの実施

2　利用者中心のサービスの提供

（1）回復期リハビリテーション医療の充実

（2）在宅支援機能（訪問診療・看護等）の強化

（3）自立支援・重度化防止に資するサービスの推進

（4）認知症になっても安寧に過ごせる地域づくりの実施

（5）各種リスクマネジメントの徹底

3　安定的な経営基盤の確保

（1）質の高い人材の確保

①会の特長を活かした採用活動の実施

②正職員登用試験の実施

③研修制度及び福利厚生制度の充実

④労働安全衛生の推進

⑤障害者雇用、外国人雇用の推進

（2）堅実な財務運営基盤の形成

①計画利用率の確保・達成

②予算執行管理の徹底とコスト意識の向上

③既存事業の見直しと新規事業実施の検討

④財政の将来見通しの策定

（3）法人機能の充実

①法人組織（本部事務局、企画開発本部、事業本部、人材確保対策本部、地域公益活動推進本部、各事業部門）の活性化による業績の向上

②経営企画会議等による諸課題の検討及び対処方針の決定

③情報公開の推進及び防災対策の推進

Ⅲ　各事業計画概要

1　浴風会病院事業

高齢者保健医療総合センターとしての役割を十分果たすための機能を強化し、地域包括システム支援の中核となるべく取組を進める。

（1）当院の機能や医療資源を地域に積極的にアピールし、開かれた病院づくりを進め、外来患者の確保に努める。

（2）在宅療養後方支援病院として、急性疾患により入院が必要になった自宅・介護施設の高齢者を積極的に受け入れ（又は他医療機関に紹介）、治療終了後の切れ目なく在宅療養につなげていく。

（3）地域で安心して療養生活が継続できるよう、訪問診療・看護・リハビリの強化・推進を図る。また、在宅支援事業の安定化・拡充を踏まえ、会内事業との連携・統合化などの検討に取組む。

（4）地域の医療・介護サービス提供機関との連携を推進する。

（5）より質の高い看取りを目指し、ターミナル期における医療及びケアの充実を図る。

（6）診療報酬の改定を踏まえ、新たな施設基準に的確に対応するとともに、在院日数の短縮、在宅復帰率の向上、ジェネリック医薬品の推進、差額病床の適正かつ効率的な運用を図るなど、診療収入の向上に取組む。

（7）職員、一人ひとりが常に問題意識を持って業務改善、経費の削減及び効率化に努め、安定的な運営に努める。

2　老健事業

（1）目標利用率の達成

（2）リハビリテーション機能の充実

（3）療養及び在宅復帰に向けたサービス提供の推進

（4）退所後の在宅生活継続に対する支援機能の充実

（5）生計困難者等の利用者の受入れ促進

3　老人福祉事業（養護老人ホーム、軽費老人ホーム）

（1）多様な生活課題を抱える高齢者に対して、居住支援、生活支援等を行うとともに、施設が有する機能を活用した地域貢献策を展開する。

（2）研修や職場体験活動等の積極的受入れ、また地域との交流の機会を大切にするなどして、社会貢献や地域との協働を進める。

（3）個別支援計画に基づく支援の充実、生活環境の向上等に努めるなどして、誰もが安んじて暮らせるためのサービスの提供に向けた取組を進める。

（4）各施設が行う行事・クラブ活動・イベント等の内、他施設の利用者も参加可能なものについて情報を共有することにより利用者が選択を拡大し、相互の交流が可能となるよう情報の共有化を進める。

（5）研修等への積極的参加による専門性の向上に努めるほか、良好な人間関係を構築、維持する能力や説明、調整能力等を養うなどして、各職種間の連携が確保された働き甲斐のある職場づくりを進める。

（6）施設運営に必要な人材の確保、サービスの標準化による効果的業務の遂行、行政や医療機関等の関係先との協調関係を構築するなどして、施設の安定的、持続的な経営基盤の確保を進める。

4 介護保険事業（特別養護老人ホーム、在宅サービスセンター及びグループホーム）

（1）緊急ショートステイを積極的に受け入れる。（特養）

（2）東京都生活困窮者就労訓練事業の認定を受け、生活困窮者の就労の機会を提供する。（特養）

（3）障害者雇用を支援する杉並区事業団及びNPO法人の施設外就労訓練生及び若者の就労を支援するNPO法人の訓練生を受け入れ、就労を支援する。（特養）

（4）身体拘束廃止に対する取組をより一層強化し、不適切な介護防止に関する悉皆研修を実施する。（特養）

（5）厚生労働省が改訂した「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿って、浴風会病院との協働の下に看取り介護体制をさらに推進する。（特養）

（6）適切な医療ケアを提供するために、医師・看護師・相談員・ケアワーカー等多職種による医療連携ケアの向上を図る。（特養）

（7）キャリア段位制度に継続して取り組み、アセッサー21名による職員のレベル認定を実施する。（特養）

（8）会内のキャリアパス研修の他、3特養合同で中途採用介護職員対象のキャリアアップ研修等を実施する。（特養）

（9）医療連携体制加算体制の下、浴風会病院と連携して健康管理を行う。（グループホームひまわり）

（10）安定した経営基盤確立のため、デイサービス事業について抜本的な見直しを図る。（南陽園・第二南陽園在宅サービスセンター）

（11）目標利用率を達成する。（全事業）

（12）介護報酬の、新規加算を算定する。（全事業）

5 地域サービス事業

（1）高井戸地区地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の見守り、安否確認、生活支援の担い手づくりなどの生活支援体制の整備に取り組み、認知症など介護が必要になっても支え合える地域づくりを進める。

（2）ケア24高井戸は、在宅医療地域ケア会議等を通じて医療と介護の連携の推進を図るとともに、認知症サポーター養成講座の開催や見守りネットワークを強化し、元気高齢者が活躍できる場や互助を推進する仕組みをつくる。

（3）居宅介護支援事業所は、医療と介護の連携の推進を視野に入れたケアマネ業務の充実を図り、利用者それぞれに合った適切なケアプランを作成する。

（4）ヘルパーステーションは、会内外の利用者ニーズに柔軟に対応できる人的体制を確保して業績向上を図るとともに、総合事業や、介護保険外サービスについても適切に実施する。

（5）シルバーピア（高齢者集合住宅）の相談事業は、区内11か所のLSAが高齢者の見守りや相談を通じて、安全安心な在宅生活を支援する。

（6）よくふう保育園は、受託事業者・上水保育園と連携し、職員の子育て支援の充実を図るとともに、地域の保育需要にも柔軟に対応する。

6 認知症介護研究・研修東京センター事業

（1）国家戦略である認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～（新オレンジプラン）推進に係る調査・研究・研修等を前年度に引き続き行い、認知症国家戦略の推進に寄与する。

（2）研究事業の実施に当たっては、その時々の国策に応じた課題については「厚生労働省老人保健健康増進等事業」、基礎的な課題やセンターの独自性に基づく課題については、「センター運営事業費」、「日本医療研究開発機構（AMED）研究費」、「厚生労働科学研究費」、「文部科学研究費」、「生活協同組合・民間財団研究助成金」等を活用し研究を行う。

（3）新オレンジプランを推進する研究である認知症ケアレジストリ研究を実施する。当面、全国認知症介護指導者ネットワークとの協働により介護保険施設における登録数を拡大するとともに、浴風会内の3特養とも密に連携し登録を推進する。

（4）新オレンジプランにおける認知症介護指導者養成研修及びフォローアップ研修、認知症地域支援推進員研修を継続的に実施し、推進員と指導者が各圏域で協働することにより、医療・介護等のネットワーク構築や認知症対応向上に努める。

（5）認知症をポジティブにとらえる啓発や、認知症になっても本人・家族が安寧に過ごせる地域づくりに貢献する。

（6）地域貢献の一環として、杉並区との協働により、区民等を対象としたセミナーや区の認知症関連事業等に寄与する。

（7）センター事業の評価及び運営に資するために、外部委員からなる「運営協議会」を開催し、研究・研修等事業全般についての評価を受けそれを踏まえた上で適切な事業運営を行う。

平成30年度資金収支予算

単位：千円

区分		収入予算額		支出予算額		予備費
社会福祉事業	養護　浴風園	478,731		478,731		0
	軽費　松風園	379,580		379,580		0
	軽費　ケアハウス	185,959		183,431		2,528
	老人福祉事業計（a）	1,044,270	12.2%	1,041,742	12.2%	2,528
	特養　南陽園	1,138,968		1,137,406		1,562
	特養　第二南陽園	707,187		702,187		5,000
	特養　第三南陽園	1,067,151		1,064,260		2,891
	南陽園在宅サービスセンター	50,373		49,749		624
	第二南陽園在宅サービスセンター	92,300		92,300		0
	グループホームひまわり	106,574		106,544		30
	ヘルパーステーション	66,358		61,357		5,001
	介護保険事業計（b）	3,228,911	37.8%	3,213,803	37.8%	15,108
	浴風会病院	3,022,323	35.4%	3,018,173	35.5%	4,150
	老健　くぬぎ	605,935		604,959		976
	認知症介護研究研修センター	312,621		312,017		604
	本部事務局	177,295		175,815		1,480
	本部等事業小計（c）	4,118,174	48.2%	4,110,964	48.3%	2,084
	社会福祉事業合計（d＝a＋b＋c）	8,391,355	98.3%	8,366,509	98.3%	24,846
公益事業	地域包括支援センター	49,879		49,407		472
	居宅介護支援事業所	28,655		28,638		17
	よくふう保育園	37,073		37,005		68
	ケアスクール	12,088		11,846		242
	公益事業合計（e）	127,695	1.5%	126,896	1.5%	799
収益事業（f）		17,400	0.2%	17,060	0.2%	340
総計（d＋e＋f）		8,536,450	100.0%	8,510,465	100.0%	25,985

浴風会の動き（4月）

4月11日お花まつり（於：礼拝堂）

【本部事務局】

2日「採用等辞令交付式」開催（新採用40名）

3日「新入職員研修会」開催

11日「花まつり」開催

12日　厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室井上室長補佐他3名見学

17日　厚生労働省社会・援護局地域福祉課 玉城地域福祉専門官見学

18日　東京都福祉保健局高齢社会対策部新人職員8名見学

29日　天理教杉並支部の皆様により、構内の環境美化の奉仕を賜りました。（浅井）

浴風会ケアスクール

Cafeオレンジリボンウッド

1日　介護福祉士実務者研修開講。受講生13名。

9・27日　cafeオレンジリボンウッド開店。来店者9日46名、27日60名。

次回は5月14日（月）11時30分～15時、本館1階第三会議室にて開店いたします。パン、焼き菓子、コーヒーの他素敵な小物の販売と、折り紙など一緒に楽しめる手作りコーナーもあります。みなさまのご来店をお待ちしております。

11日　よくふう語ろう会（認知症介護家族会）22名参加。（鈴木）

【老人福祉事業】

浴風園（養護老人ホーム）

4日　お花見会を開催しました。例年より早い桜の開花に残念ながら満開時期は過ぎてしまいましたが、お昼にお花見弁当をご用意しお楽しみいただきました。午後はNPO法人プロップKの皆様のご協力でダーツ大会を開催しました。初めてダーツを行う方もボードにうまく投げ込まれ、皆様笑顔でご参加下さいました。

17日　高尾霊園へ参拝いたしました。バス3台で計33名のご利用者様が参加されました。あいにくの曇り空でしたが大雨に降られることもなく実施することができました。帰りは道の駅での買い物をお楽しみいただきました。（宮崎）

松風園（軽費老人ホーム）

3日　八重桜の季節にお花見会を催しました。お昼は食堂で松花堂弁当を召し上がっていただき、その後はカラオケでみなさん御自慢の美声を楽しませていただきました。

19日　高尾霊園参拝に行きました。天候が心配されましたが雨に降られることもなく、山桜を楽しみながら懐かしい方々をお参りされました。帰りは〔木曽路〕で昼食、そのあと道の駅で買い物を楽しみました。（宮中）

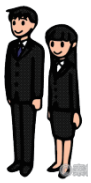
浴風会ケアハウス

4日　お花見会を開催しました。お食事の後のカラオケ大会は大いに盛り上がりました。

5日　絵手紙教室を開催しました。今回から新しい講師、花咲先生が担当となりました。

17日　今月の歩こう会は神代植物公園に行きました。春の風を浴びながらのお散歩です。（隈本）

【介護保険事業】



南陽園（特別養護老人ホーム）

新年度になり、登用ケアワーカー4名、事務員1名と新人ケアワーカー2名が新たに南陽園のスタッフとして加わりました。研修後、それぞれの配属先での勤務が始まりました。

11日　花まつり。礼拝堂で灌仏会法要が行われ、花御堂が各フロアを回りました。お釈迦様にお参りし、甘茶をかけていただきました。

天気の良い日は構内に散歩に出かけています。保育園の子供たちが芝生の上で楽しそうに遊んでいる姿を見て、ご利用者の皆様もほっこり!!心も体も暖かくなりました。（丸山）

南陽園在宅サービスセンター（認知症対応型通所介護）

新年度より介護報酬の改定があり、ご利用料が変更になりました。

デイサービスのお客様には、比較表などの書面にて変更内容のご説明をさせていただいております。

これからも、認知症の方やそのご家族が安心して地域で暮らしていけるようサポートをさせていただきます。今年度もよろしくお願い致します。（鈴木）

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽に御連絡下さい。

◎電話03―3334―2743（鈴木・工藤）

第二南陽園（特別養護老人ホーム）

1日　2名の新人職員と施設間異動者1名の職員が着任しました。

12日　花まつりで花御堂の巡行がありました。お釈迦様に甘茶を注ぎお祝いを行い、甘茶もいただきました。

27日　角笛幼稚園の園児が来園し、素敵な歌を披露してくださいました。

4月も、高混クラブ・アートセラピー・フラワーアレンジメント等たくさんのボランティアの方に来ていただき、素敵な歌や作品づくりを一緒に行いました。（山崎）

第二南陽園在宅サービスセンター

（通所介護、介護予防通所介護）

午前中の活動のひとつである手工芸には、作品作り・書道・絵手紙があります。作品は、ビーズ・和紙・太目の糸を使うものを中心に用意していますが、色や模様次第で雰囲気が変わります。手先を使い集中できることは、一種のリハビリにもなるようです。10時半～11時半の間でご見学ください。（尾滝）

★ご見学のお問い合わせもお待ちしています。

◎03―3334―2140

第三南陽園

（特別養護老人ホーム）

1日　開園記念日。お祝い膳と紅白饅頭で、開園17年目のお祝いをしました。

今年度第三南陽園にはフレッシュな新人職員が4名入職しました。希望に胸を膨らませ、皆さん素敵な笑顔です。新人職員と一緒にベテラン職員も成長していきたいと思います。

11日　花まつりでは、花御堂が各施設を周りお釈迦様に手を合わせて甘茶を頂きました。

18日　ピアノ演奏のボランティアさんにきて頂きました。素敵な音色に耳を傾けて、ご利用者の皆様も、職員もほっとしたひと時を過ごしました。（谷口）

グループホームひまわり

1～8日　お花見週間。皆様でお花見に行きました。満開の桜を見て皆様、「わぁ、きれいね」ととても喜ばれていました。春の陽気がとても心地よく感じました。

1日　開園記念日。天気も良かったのでおやつは外で頂きました。「外で食べるのもいいわね。」と笑顔で和菓子を召し上がられました。

11日　花まつり。花御堂に祀られたお釈迦様の像に甘茶を注ぎ、生誕をお祝いしました。

13日　〔かごの屋〕へ外食に行き、いつもと違うお店の雰囲気やお食事を皆様で楽しみながら美味しく頂きました。（村下）

【地域サービス事業】

地域包括支援センター ケア24高井戸

今年の4月から、小学校の教科に「道徳」が復活しました。その是非はさておき、学校現場も多様な価値観をどのように子どもたちに伝えて行くのか模索を始めているようです。

人生100年時代と言われる昨今、人の暮らし方も価値観も多種多様になりました。

私達も、昨年に引き続き、家族介護教室等をとおして、地域での暮らしや人との繋がりを考える場を設けていく予定です。一人ひとりの生き方に触れながら、一人ひとりを大切にして、誰もが安心して暮らせる地域づくりを一緒に考えていきませんか。是非、皆様のお声をお聞かせ下さい！（尾関）

杉並区地域包括支援センター
ケア24高井戸
◎電話03―3334―2495

【病院事業】

浴風会病院

2日　平成30年度新入職員の辞令交付式が行われました。今年度は、看護師5名、理学療法士1名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、心理士1名、生活相談員1名、薬剤師1名の計12名が理事長から辞令を渡され、新たに浴風会病院の一員として配属されました。今年度も地域の方々のお役に立てる様、病院職員一同が決意を新たにしました。（中澤）

◎03―3332―6511（代表）

老健くぬぎ

（介護老人保健施設）

新年度を迎え、老健くぬぎにも新しい職員が増えました。副施設長として就任した和田の他、看護師2名です。老健くぬぎがより良いサービスを提供できるよう、一緒に頑張って参りますのでよろしくお願いいたします。

4月に行われた介護報酬改定に伴い、在宅への復帰、在宅生活を継続するための支援を更に高めていくことになります。またデイケアでは、ご家族や関連するサービス事業所の担当者による会議を定期的に開催いたします。ご家族や地域の皆さまと一緒になって、地域福祉の向上に努めて参ります。（森屋）

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。
◎03―5336―7701（代表）
◎03―5336―7734（入所）
◎03―5336―7704（デイケア）

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

19日　山口塾1日目（東京センター・63名参加）

20日　山口塾2日目（東京センター・129名参加）

4月23日から6月23日まで、空調機更新工事を行います。会内に大型クリーン車が工期中6回ほど往来します。ご迷惑をおかけ致しますが、宜しくお願い致します。（村上）

浴風会病院　診療案内　⑪

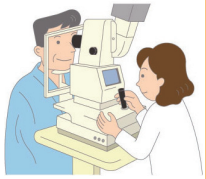
眼科について

眼科医長　酒井　徳子

眼科では、結膜炎、角膜炎、ドライアイ、白内障、緑内障、網膜疾患等の診療を行っています。当院は高齢の患者様が多く受診されるため、個々の患者様の全身状態、生活状況を考慮し治療方針を考え、わかりやすい丁寧な説明を心掛けています。

＜受診について＞

午前の外来の受付時間は月～金曜日の 8 時 30 分から 11 時までで、予約がなくても受診いただけますが予約の方が優先されます。午後は予約の方のみで視野検査、眼鏡処方、白内障の術前検査、レーザー治療等を行っています。



初めて眼科を受診される場合、当院の診察券をお持ちの方は予約をとることができます。初診時は問診、視力検査等に加え散瞳剤を使用して診察を行うことがあり、時間がかかることがあります。受診の際は時間に余裕をもってご来院ください。

なお、疾患の種類により専門の治療が望ましい場合は、近隣の高度医療機関を紹介しております。

＜白内障手術について＞

白内障とは、目の中のレンズ（水晶体）が濁り、視力が低下する、かすんで見える、まぶしいなどの症状がでる病気です。最も多い原因は加齢によるものです。

レンズの濁りが強くなり、日常生活に支障をきたすようになると手術を検討します。

当院では、片眼で 1 泊 2 日の入院（水曜日午前入院、午後手術、木曜日退院）で手術を行っています。術後の諸注意、薬剤師による点眼方法の説明を個別に時間をかけて行い、高齢な患者様にも不安なく手術を受けていただけるよう配慮しています。手術をご希望の場合は、まず午前の外来を受診しご相談ください。

＜心配な方は受診を＞

視力が低下した、かすんで見える、目が疲れる、物がゆがんで見える、視野が欠けて見える、虫のようなものが飛んで見える、目やにがでる、目が赤い、痛い、かゆい、乾く、ゴロゴロする、まぶたが腫れるなど、目の症状で気になることがありましたら、どうぞ当院の眼科を受診ください。

眼科外来：月～金曜日の午前中

➡お問い合わせ先：浴風会病院　03-3332-6511（代）

編集後記

今月の巻頭言にご寄稿いただいた本間昭雄先生は、社会事業界の重鎮です。医家の家系の出で、特に水戸斉昭公のご典医だった七代目の本間玄調氏は、華岡青洲やシーボルトに学び、我が国で初めて麻酔を用いて膝下の切断手術を行ったことで知られています。本間先生も医学を志していましたが、青年期に医療事故で失明されました。しかし、先生は幾多の試練を克服され、青梅に盲老人ホーム聖明園を建設され、また、盲学生の育英資金を創設するなど、全国盲人福祉事業の先駆者のお一人です。ピンと背筋を張った姿勢、にこやかな笑顔は、初めてお目にかかった四十数年前と全く変わりありません。いつまでもお元気にご活躍されるよう願ってやみません。

ご芳志

平成30年3月16日から
平成30年4月15日

多くの方々よりご芳情をいただきました。
ありがとうございました。

〈金品・物品〉
林　泰様、宮沢　郁子様、
狩野　治男様
●ほか、各施設にもいただいております。

【ご意見をお寄せください】
〒168-8510※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
soumu2@yokufuukai.or.jp
http://www.yokufuukai.or.jp/